

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	交流協会		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和47年度・なし		担当課室	学生・留学生課 留学生交流室		学生・留学生課長 渡辺 正実		
会計区分	一般会計		政策・施策名	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 14-1 国際交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「留学生30万人計画」骨子(平成20年7月29日策定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	1972年の日中国交正常化に伴い、我が国は台湾と断交したが、外交を除く従来の関係を維持するための民間レベルの交流団体として、財団法人交流協会(現公益財団法人交流協会)が設立された。この交流協会を通じた、台湾からの留学生に対する奨学援助を支援することによって、日台間留学生交流の一層の拡充を図り、相互の教育・研究水準の向上に資するとともに、相互理解と友好親善を増進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日本の大学で研究指導を受けている若しくは受けようとする台湾からの長期留学生(大学院レベル及び学部レベル)、及び、留学期間が3年以上1年未満の短期留学生に対し、交流協会を通じて奨学金等の援助を実施する。(定額補助)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	674	606	596	619	638	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	674	606	596	619	638		
	執行額	674	606	596				
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	台湾からの優れた人材を我が国の高等教育機関で受け入れることにより、国際交流に貢献するとともに、将来を担う人材の育成に資する。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	台湾からの受入れ留学生に対する奨学金等支給者数 (①長期②短期③学部)		活動実績 (当初見込み)	①249 ②79	①227 ②78	①227②79 ③10	-	
					(①229 ②80)	(①229 ②80 ③10)	(①229 ②80 ③20)	
単位当たりコスト	1,887(千円/人)		算出根拠	H24年度執行額(596,252千円)/受入れ留学生数(316人)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	奨学金等	613百万円	632百万円					
	渡日及び帰国旅費	6百万円	6百万円					
	計	619百万円	638百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、我が国のブランドを活用する国費外国人留学生制度に伍する資源を活用して、優秀な外国人留学生(台湾人留学生)の受入れに貢献するものであること、外交的な観点を含む業務であること、国際的な教育交流及び相互理解の増進を目的とするものであることから、国が実施すべき優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本事業は、日台間の国際相互理解の促進に寄与することを目的とする公益財団法人交流協会が、留学生受入れに関する豊富な実績とノウハウを有していることから、同協会に補助金として予算措置している。費目や用途は、留学生に対する奨学金等に限定されており、受益者との負担関係の妥当性、資金の流れの支出の合理性においても問題はない。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	活動実績は見込みに見合ったものであり、優秀な台湾人留学生の継続的な受入れにつながっており、本事業の実効性は高い。国際的な教育交流及び相互理解の増進という成果目標にもつながるものである。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業により、公益財団法人交流協会を通じて、台湾からの留学生に対する奨学援助を行い、平成24年度においても300名を超える留学生に奨学金等を支給しており、東日本大震災の影響が続く中でも、留学生を通じた台湾との国際交流が着実に進んでいる。 ・平成24年度には、本事業において新たに学部留学生の受入れを開始したが、我が国への留学を熱心に希望する留学生を当初見込みどおりに獲得することが叶い、台湾との国際交流に一層の厚みをもたらす事業となっている。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に公益財団法人交流協会から提出される実績報告書等において、支出先・用途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っており、今後も引き続き、適切な支援と管理を行っていくことが必要である。 ・元奨学金留学生の継続的なフォローアップの実施が課題であり、関係機関との連携強化を図ることが必要である。 					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業評価の観点：本事業は、台湾との断交により、民間レベルの交流団体として設立された(財)交流協会に対する台湾からの留学生に対する奨学援助を目的とした補助事業であり、長期継続事業の観点から検証を行った。 2. 所見：本事業は、(財)交流協会でしか行えない事業であり、奨学金受給者に係る必要額を適正に算出しつつ、現行の事業内容を維持すべきである。 					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0408	平成23年	0179	平成24年	0200

文部科学省
596百万円

〔交流協会が行う外国人留学生に対する支援事業に必要な経費を補助。〕



【補助】

A. 交流協会
596百万円

〔台湾からの留学生に対する奨学援助の事業を実施。〕



【奨学金等】

B. 学生(全316名)
596百万円

〔台湾からの留学生に対する奨学金等を支給。〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.交流協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	奨学金	450			
	授業料	141			
	渡日・帰国旅費	6			
計		596	計		0
B.学生A			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
奨学金	奨学金	2			
授業料	授業料の支払い	1			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

支出先上位10者リスト

A.

※補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	交流協会	台湾からの留学生に対する奨学金等の支給	596	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学生A	奨学金等の援助	3	-	-
2	学生B	奨学金等の援助	3	-	-
3	学生C	奨学金等の援助	3	-	-
4	学生D	奨学金等の援助	3	-	-
5	学生E	奨学金等の援助	3	-	-
6	学生F	奨学金等の援助	3	-	-
7	学生G	奨学金等の援助	3	-	-
8	学生H	奨学金等の援助	3	-	-
9	学生I	奨学金等の援助	3	-	-
10	学生J	奨学金等の援助	3	-	-